

回覧

桜地区防災ニュース「きらら」

平成29年11月号
発行責任者
桜地区自主防災協議会
桜地区連合自治会



◎ 知っておきたい災害知識 : Part 1

多くの災害知識を持つことで、より正確で迅速な判断が出来るようになり、自分や多くの人を助けることが出来ますので、参考にしてください。

○ 地震のメカニズム

地震は地下岩盤の「ずれ」により発生し、海と陸のプレート（岩盤）が動いて、陸のプレート付近で起こるのが、プレート境界の地震です。日本周辺は、複数のプレートに複雑な力が関わっており、世界でも有数の地震多発地となっています。

また、プレート内部に力が加わって発生する地震が、プレート内地震です。この地震は、沈み込むプレート内の地震と陸のプレートの浅いところで発生する地震（活断層による地震）です。居住地域に近いところで発生すると、大きな被害を伴うことがあります。



★ 液状化現象

地震が発生した際に地盤が液体状になる現象です。住宅などの建物に傾斜や沈下などの被害が発生する恐れがあります。

また、下水管や小さい建造物やマンホールが浮きあがる場合があります。



裏面につづく

回覧									

防災ニュース「きらら」は単独で回覧をお願いします。

○ 震度とマグニチュード

震度は揺れの強さです。測定された震度を「震度 7」までの 10 段階で発表しています。マグニチュード (M) は地震のエネルギーの大きさです。尚、マグニチュードの小さい地震でも、震源地に近いと震度は大きくなります。

震度	揺れなどの状況
0	人は揺れを感じません。
1	屋内で静かにしている人の中には揺れをわずかに感じる人もいます。
2	屋内で静かにしている人の大半が、揺れを感じます。
3	屋内にいる人のほとんどが、揺れを感じます。
4	ほとんどの人が驚き、電灯などのつり下げ物は大きく揺れます。据わりの悪い置物が倒れることがあります。
5 弱	大半の人が物につかまらなると感じます。棚にある食器類や本などが落ちることがあります。固定していない家具が移動することがあり、不安定な物は倒れることがあります。
5 強	物につかまらなると歩くことが難しく、棚にある食器類や本など落ちる物が多くなります。補強されていないブロック塀などが崩れることがあります。
6 弱	立っていることが困難で、固定していない家具の大半が移動し倒れる物もあります。壁のタイルや窓ガラスが破損、落下することがあります。耐震性の低い建物は瓦が落下したり、傾いたり、倒れることもあります。
6 強	はわなないと動くことができず、飛ばされることもあります。固定していない家具のほとんどが移動し、倒れる物が多くなります。大きな地割れが生じたり、大規模な地滑りや山の崩壊が発生することがあります。
7	耐震性の低い木造建物は傾く物や、倒れる物が多くなります。耐震性の高い建物も、傾くことがあります。耐震性の低い鉄筋コンクリート造りの建物でも、倒れる物が多くなります。

★ 緊急地震速報

地震の発生直後に、各地での強い揺れの到達時刻や震度を予想し、可能なかぎり素早く知らせる情報のことです。気象庁の発表は、テレビ・ラジオ、インターネットなどを通じて知らされます。

速報には予報と警報の 2 種類があります。

予報：最大震度 3 以上又は 3.5 以上を予想した場合に発表します。

警報：最大震度 5 弱以上と予想された時、震度 4 以上の揺れが起こる地域を対象に発表します。また、予想最大震度が 6 弱以上の場合は、特別警報と位置付けています。



以上

参考文献：「東京防災（知っておきたい災害知識）」